

特定非営利活動法人 ピープルズ・ホープ・ジャパン

2024 年度 事業計画

1. 5 ヶ年総合計画

昨年 2022 年に PHJ 設立 25 周年を迎え、同年 9 月には新たな理事長、代表が就任し、新体制となりました。また、近年、PHJ 内部の財務構造や PHJ を取り巻く外部環境も変化してきていることから、これまでの事業や活動を見直し、設立 30 周年に向けた次の 5 年間の中期計画（5 ヶ年総合計画）を策定することとしました。

これと並行して、運営委員会にてご提言があった「PHJ の存在意義（パーパス）」を問い直すことは、今行うべき重要な課題と捉え、スタッフ全員で考え、議論することとしました。2 度の内部ミーティングで意見交換・議論を行い、以下のようなステートメントとしてまとめられました。

PHJ の存在意義（パーパス）：

「人とつながり、人と人をつなげる架け橋となって、
誰もが健やかに成長できる世界をつくります」



この存在意義（パーパス）は、これまで掲げてきた「PHJ の理念」、「目的」、「使命」、「運営基本方針」とも整合しており、これからの PHJ の拠り所となるステートメントとして掲げていきたいと考えております。また、今回、スタッフ全員が明確に意識することとなった「PHJ の存在意義」とこれまで掲げてきた「PHJ の理念」等に照らして、具体的な活動の絞り込みを行い、「5 ヶ年総合計画会議」を通して実行スケジュールに落とし込んでいく予定です。

2. 支援活動計画（事業計画）

2.1 カンボジア支援

2.1.1 シェムリアップ州ソトニクム保健行政区における安心安全なお産のための保健システム強化支援事業（委託事業）

本事業は JICA 草の根技術協力事業（委託事業）として 2023 年 4 月 4 日に開始しました。事業対象地のすべての女性にとって安心安全なお産のために、1)リファラル病院と保健センターの助産サービスが向上し、連携が強化される（医療を提供する側：サプライ・サイド）、2)ボランティアの能力が強化され、保健センターとコミュニティの連携が強化される（医療と住民をつなげる：コミュニティ）、3)地域住民の母子保健、特に安全な妊娠・出産に関する知識が向上する（医療を利用する側：ダイヤモンド・サイド）を目指し、シェムリアップ州保健局及びソトニクム保健行政区、リファラル病院、保健センターと連携しながら、以下の活動を実施します。

(1) リファラル病院と保健センターの助産サービスを向上させ、連携を強化する活動

保健センターレベルでは、保健センタースタッフ会議（毎月の定期開催）のモニタリング（とフィードバック）、そして、保健行政区レベルでは、MCAT 会議（助産師連携チーム会議）を開始

します（年2回の定期開催）。また、保健行政区スタッフのサポーター・スーパービジョンの勉強会を行い、保健センターを訪問して現場で行うスーパービジョンを開始します。さらに、リファラル病院スタッフと保健センタースタッフを対象とした緊急トリアージ研修、助産師を対象とした「セーフ・デリバリー・アプリ」と「E-Learning 用ビデオ教材（健康教育&分娩ケア）」に関する研修、リファラル病院と保健センターの助産師の能力強化研修（人間的なお産）、保健センタースタッフを対象としたMPA研修（ミニマム・パッケージ活動）を実施します。下半期には、保健行政区スタッフによるリファラル・システムと保健センターマネージメント（24時間体制）のスーパービジョンを開始します。

(2) ボランティアの能力を強化し、保健センターとコミュニティの連携を強化する活動

ボランティア会議のモニタリング（とフィードバック）を開始します。併せて、地域で活動する保健ボランティアの能力強化研修を実施します。下半期には、保健センタースタッフと保健ボランティアが協力しながら、ポジティブな出産経験のプロモーション活動を実施します。

(3) 地域住民の母子保健、特に安全な妊娠・出産に関する知識を向上させる活動

保健当局と協力して、ボランティアによる地域保健活動のための教材を作成します。その教材を活用しながら、ボランティアによる保健教育・啓発活動を開始するとともに、ボランティアによる妊婦の個別訪問を開始します。また、保健啓発Q&Aセッションを実施します。

2.2 ミャンマー支援

2.2.1 ネピドー特別行政区レウエイ郡における妊産婦と新生児の健康改善のための保健システム強化支援事業（補助金事業・自主事業）

本事業はネピドー特別行政区レウエイ郡全域を対象として、特に保健サービスへのアクセスがより困難な農村地を重点的に支援します。地域の保健システムの強化を通して、保健サービスの質の向上と利用を促進することによって、母と子の健康が改善されることを目指します。また、ネピドー公衆衛生局及びレウエイ郡保健当局と連携しながら、レウエイ郡での活動の成果が、ネピドー特別行政区内の他の郡に波及されるよう取り組みます。2020年12月に小野薬品工業の冠事業にて開始し、その後、N連第1年次事業が2021年3月31日に始まりました。2021年2月の国内情勢の大きな変化とCOVID-19の感染拡大の状況の中、N連第1年次事業の実施期間が13ヶ月間延長されたため2023年4月30日に終了し、切れ目なく、第2年次事業が5月1日に始まりました。小野薬品工業の冠事業（ONO SWITCH Project）は、2022年12月31日に完了し、2023年1月1日に新規冠事業（ONO Bridge Project）が始まりました。

事業活動は、(1) ネピドー特別行政区内の他の郡への本事業成果の波及を目指した活動、(2) 郡保健局－医療者－コミュニティの連携を促進させる活動、そして(3) 妊産婦と新生児の保健サービスへのアクセスの向上を目指した活動の3つのアプローチから構成されています。(2)と(3)の活動はすべての村で画一的に実施するのではなく、それぞれの地域の課題に即した活動を選定して支援活動を実施します。

(1) ネピドー特別行政区内の他の郡への本事業成果の波及を目指した活動

保健省との年次調整会議（状況の応じて個別面談）と6ヶ月毎のネピドー公衆衛生局及びネピドー管轄郡との事業評価会議を行います。また、ネピドー特別行政区の他の郡による活動現場の視察と保健情報システム（HMIS）の再研修を実施します。

(2) 郡保健局－医療者－コミュニティの連携を促進させる活動

助産師、補助助産師、母子保健推進員が集う地域医療関係者会議を定期開催します。また、レウエイ郡保健局での継続医療学習（CME）の開催を支援します。レウエイ郡保健局スタッフ

との事業ワークショップを行い、活動の進捗状況や成果を確認します。基礎保健スタッフの能力強化支援として、保健情報管理システム（HMIS）の再研修、緊急産科ケア（BEmOC）の再研修、新生児・小児疾病統合管理（IMNCI）の再研修を実施するとともに、2024年の年間活動計画（村での保健教育）の策定を支援します。

(3) 妊産婦と新生児の保健サービスへのアクセス向上を達成するための活動

郡内農村部の対象村にて母子保健推進員の育成研修を行います。すでに育成された母子保健推進員は、村での保健教育、妊産婦の家庭訪問、定期レポートの提出を継続します。また、地域住民を対象としたマスマーケティングとレウエイ郡保健局スタッフと地域保健センター担当者による保健施設の管理モニタリングを継続します。

現地事務所と東京本部の連携、外務省民間援助連携室及び在ミャンマー日本大使館との連携を図りながら、計画された活動だけでなく、新たなニーズに対応するために計画変更をするなど、現地の状況に応じて柔軟に対応しつつ活動を進めます。

2.3 人財育成活動

PHJ が取り組んでいるグローバルな保健・医療の課題や草の根レベルの国際協力、世界共通の開発目標の理解と実践を促すための人財育成活動として、東京本部でのインターンシップ・プログラム、大学や専門学校への出張授業・講義、中学校生・高校生・大学生の事務所訪問を積極的に行います。また、海外事務所での事務所訪問や活動視察に加えて、海外事務所でのインターンシップ・プログラムの検討と準備を進めます。

2024年度予算(2023年7月1日～2024年6月30日)

(単位 円)

科 目	2022年度	2023年度	2024年度
	決算	決算	予算
I. 経常収益			
1. 受取会費	27,318,000	27,146,000	25,600,000
団体賛助会費	23,080,000	23,180,000	22,000,000
個人賛助会費	4,238,000	3,966,000	3,600,000
2. 受取寄付金	14,825,423	18,242,006	13,000,000
法人寄付金	3,794,516	9,200,000	5,500,000
一般寄付金	9,668,939	9,042,006	7,500,000
東日本大震災支援寄付	1,361,968	0	0
3. 受取助成金等	26,581,986	42,874,564	37,890,000
助成金	0	0	0
補助金	26,581,986	42,874,564	37,890,000
4. 事業収益	0	0	29,990,000
受託事業収入	0	0	29,990,000
5. 雑収益(利子等)	21,625	44,007	0
6. 商品寄付	5,950	0	0
経常収益合計	68,752,984	88,306,577	106,480,000
現金	68,747,034	88,306,577	106,480,000
商品	5,950	0	0
II. 経常費用			
1. 事業費	58,546,662	67,495,924	96,850,000
カンボジア支援費	30,584,862	28,891,986	37,350,000
ミャンマー支援費	11,774,505	22,018,826	41,850,000
東日本大震災支援費	3,250,275	0	0
広報・募金活動費	12,937,020	16,585,112	17,650,000
2. 管理費	8,615,093	15,749,363	14,650,000
3. 商品寄付	0	5,950	0
経常費用合計	67,161,755	83,251,237	111,500,000
現金	67,161,755	83,245,287	111,500,000
商品	0	5,950	0
III. 当期正味財産増減額			
現金	1,591,229	5,055,340	▲ 5,020,000
現金	1,585,279	5,061,290	▲ 5,020,000
商品(在庫)	5,950	▲ 5,950	0
IV. 前期繰越正味財産			
現金	106,766,154	108,357,383	113,412,723
現金	106,766,154	108,351,433	113,412,723
商品(在庫)	0	5,950	0
V. 次期繰越正味財産			
現金	108,357,383	113,412,723	108,392,723
現金	108,351,433	113,412,723	108,392,723
商品(在庫)	5,950	0	0